

～聴覚障害教育担当者研修会～

5月23日地域に通う難聴幼児児童生徒の担当をされている先生方との、聴覚障害に関する基礎的な内容を学ぶ研修会や、情報交換会を本校で行いました。「難聴児の理解と支援」「きこえのしくみと難聴疑似体験」について、講座を行いました。

【難聴児の理解と支援】

○難聴児の心理面の話や幼児児童生徒にとってきこえやすい環境作り、起こりやすい人間関係のトラブルなどに加え、普段の授業のことや入学試験での支援方法について説明しました。参加された先生方はご自身の担当している幼児児童生徒をイメージしながら聞いておられました。また、日頃感じている幼児児童生徒への支援方法の悩みを先生と出し合うことで、他校の取組も聞くことができ、良い情報交換の場になりました。

【きこえのしくみ】

○聞こえの仕組みや本校の聴力測定結果の見方、補聴器の構造や取り扱い方、難聴児にとって聞こえやすい話し方などについて話をしました。また、「聞こえる」＝「意味が理解できる」ということではなく、「聞こえる」にも「音の有無がわかる」「音の区別がわかる」などの段階があることや視覚情報の重要性、補聴器の正しい扱い方などの話をしました。

【難聴疑似体験】

○難聴疑似体験では、雑音の中でヘッドホンをつけて周りの音が聞こえにくい状態で、あるテーマについて話し合ってもらったり、言葉遊びをしたりしてもらいました。話や指示の内容を体験者に伝えるために、参加者の先生方の様々な工夫が見られました。

【疑似体験の感想】

- ・隣のグループが笑ったときにパニックになった。
- ・置いていかれている感じがあった。
- ・聞き漏らしてしまうことが多かった。
- ・周りの表情を気にしてしまう。
- ・推理しているようだった。
- ・しりとりが何か分からずパニックになった。
- ・聞こえないと自分から話し出すのがこわかった。
- ・聞こうとしないと分からなかったのが、疲れてしまう。

【体験の中で助かったこと】

- ・身振り手振りがあるとわかりやすかった。
- ・近くの人が話のテーマを教えてくれて助かった。
- ・目を見て話してもらえると安心した。



研修会終了後は、希望された先生方と、学部や教科に分かれて支援方法で悩んでいることを本校の教員と話す時間を設けました。

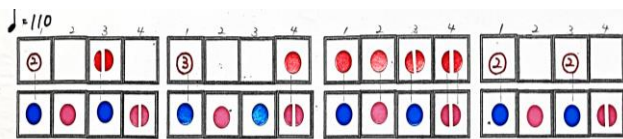
今回の研修会が、聞こえにくい幼児児童生徒に対する支援や、聴覚障害についての理解を深める研修会になったのであれば幸いです。
(文責：山中)

音楽の授業の紹介



「ろう学校では、音楽の授業をどうしていますか？」ときかれることがあります。最近、ろう学校にも聴覚を活用して音楽を楽しめる子どもが増えてきています。けれども聞こえにくさや聞こえ方は、一人一人異なるので配慮や手立ての工夫は必要になります。今回は、ろう学校の音楽の授業について紹介したいと思います。

【小学部】

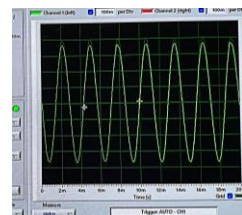
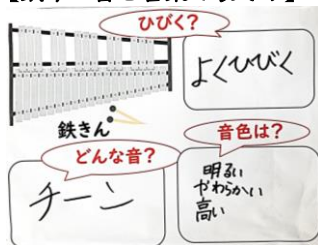


【鍵盤ハーモニカ（上）と打楽器（下）のリズム】

楽器で演奏する前に、グループに分かれて担当する楽器のリズムを練習します。どこで音が重なるのか視覚的に示して音の重なりを意識させるようにしています。聴覚や視覚を活用しながら友達を見たり、合図を出し合ったりして音を合わせることを学んでいます。

楽器演奏で表現の工夫をするために、自分が演奏する楽器がどんな音をするのか言葉で表してイメージをもたせます。言語化することが難しい児童もいるので、いくつかの例を挙げて選択肢を提示します。音の高さやひびきは、アプリを使用して視覚的に示すこともあります。

【鉄琴の音を言葉で表そう】



オシロスコープで音の響きを見ます。

【中学部・高等部】

【オンテナを使ったリズム打ち】

みんなでリズム打ちに取り組むと、普段話すスピードが個人で違うようにリズムを打つ速さもそれぞれ違います。視覚的に提示するだけでなく、音を体で感じる「オンテナ」を使うことで自分のリズムがずれている、合っているということが自分自身で感じられ、みんなで合わせようとする気持ちも高まります。それぞれ髪の毛、耳、手首、足首など思い思いの場所につけて振動と光を頼りに音の特徴を知り、意欲的に取り組んでいます。

【音楽鑑賞】

音楽家や時代の背景を知り、実際に動画で音楽を見て鑑賞する授業も行っていますが、自分のお気に入りの曲をスライドで作成し、発表する時間も設定しています。昔は、「歌手が好き」「歌詞が好き」という生徒が多かったのですが、現在は聴覚を活用している生徒も増え、「このノリの良い感じが好き」「落ち着くから好き」などその音楽の特徴を感じて自分の好きな音楽を手話だけでなく日本語にして伝えてくれています。ボカロ、K-pop、アニソン、クラシックなど幅広い音楽を紹介し合う鑑賞の時間は、とても楽しいです。



(文責：松本、畑中)

耳鼻科医の診療について

7月から担当医および診察時間に変更があります。ご確認ください。

◎奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター 耳鼻咽喉科

月曜日 8:30~11:30 大塚 進太郎 先生

金曜日 8:30~11:30 覚道 真理子 先生

◎奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 耳鼻いんこう科

水曜日 午後 澤西 和恵 先生

金曜日 午後 由良 和代 先生 (年内までの勤務となります)



「山本耳鼻咽喉科医院」および「奈良県立医科大学附属病院」については変更ありません。